

「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

令和7年4月1日、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

■ 表明日 令和7年4月1日

■ 表明の背景

国はパリ協定の採択を契機として、2020年10月に温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、地球温暖化対策計画策定のなかでその取組を推進するとともに、地方公共団体にもその取組を求めています。

本市においては、2015年に『桐生市環境先進都市将来構想』を策定するなど、温室効果ガスの削減に向けた取組を進めてきましたが、国のこのような流れを受け、本年3月に『桐生市環境先進都市将来構想』を改定し、「2050年カーボンニュートラル」を目標の一つとして掲げました。

今後、「2050年カーボンニュートラル」を広く周知啓発し、温室効果ガスを削減する取組を推進することで、「ゼロカーボンシティ」を目指してまいります。

・「ゼロカーボンシティ」とは

環境省では、2050年に二酸化炭素（温室効果ガス）排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らが、又は地方自治体として公表した自治体を「ゼロカーボンシティ」として公表しています。

・「2050年カーボンニュートラル」とは

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味します。

※ここでの「排出量」「吸収量」とは、いずれも人為的なものを指します。



【問い合わせ】
市民生活部SDGs推進課
ゆっくりズムのまち桐生推進担当
担当 高橋
TEL 0277-32-4200